

2016年度(17年3月期) 第2四半期決算説明会

2016年11月1日

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

本資料に記載されている業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、経済情勢をはじめさまざまな要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おきください。

I 2016年度上期 決算概況

II 2016年度 重点施策進捗状況

III 2016年度 通期業績予想

I 2016年度上期
決算概況

II 2016年度 重点施策進捗状況

III 2016年度
通期業績予想

「増収・増益」

- 売上収益は、流通・エンタープライズ事業グループ、情報通信事業グループを中心に増加。
- 利益は、増収による増益に加え、売上総利益率の改善により、全ての利益項目で増益。
- 受注高は、情報通信事業グループを中心に増加。
- 売上収益、売上総利益、親会社の所有者に帰属する四半期利益、受注残高は上期として、統合後最高。

2016年度 上期業績ハイライト（前年同期比）



（億円）

	2015年度 上期 実績	2016年度 上期 実績	増減額	増減率
売 上 収 益	1,652	1,758	+105	+6.4%
売 上 総 利 益	373	401	+28	+7.5%
（売上総利益率）	(22.6%)	(22.9%)	(+0.3p)	-
その他の収益及び費用	▲315	▲312	+2	-0.7%
営 業 利 益	58	88	+30	+51.9%
（営業利益率）	(3.5%)	(5.1%)	(+1.6p)	-
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	37	59	+21	+56.1%
受 注 高	1,610	1,738	+127	+7.9%
受 注 残 高	1,974	2,063	+89	+4.5%

-4-

Copyright©2016 ITOCHU Techno-Solutions Corporation

2016年度 上期 業績ハイライト（前年同期比）

【売上収益】

商社、コンビニ、通信会社向けなどで増加。

【売上総利益】

増収 及び 売上総利益率の改善により増益

【その他の収益及び費用】

為替評価損などにより「その他の費用」が増加するも、
販売管理費が減少し、前年同期比減少。

【営業利益】

売上総利益の増加により増益。

【受注高】

商社、通信会社、中央省庁向けなどで増加。

【受注残高】

受注高と同じ。

(参考)2016年度 Q2業績ハイライト(前年同期比)



(億円)

	2015年度 Q2 実績	2016年度 Q2 実績	増減額	増減率
売上収益	883	934	+51	+5.8%
売上総利益	199	220	+21	+10.8%
(売上総利益率)	(22.6%)	(23.7%)	(+1.1p)	
その他の収益及び費用	▲157	▲151	+6	-3.8%
営業利益	41	69	+27	+66.1%
(営業利益率)	(4.7%)	(7.4%)	(+2.7p)	
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	25	46	+20	+79.7%
受注高	880	951	+71	+8.1%
受注残高	1,974	2,063	+89	+4.5%

-5-

Copyright©2016 ITOCHU Techno-Solutions Corporation

2016年度 Q2 業績ハイライト (前年同期比)

【売上収益】

コンビニ、通信会社などで増加。

【売上総利益】

増収 及び 売上総利益率の改善により増益。

【その他の収益及び費用】

販売管理費が減少。

【営業利益】

売上総利益の増加と、その他の収益及び費用の減少により増益。

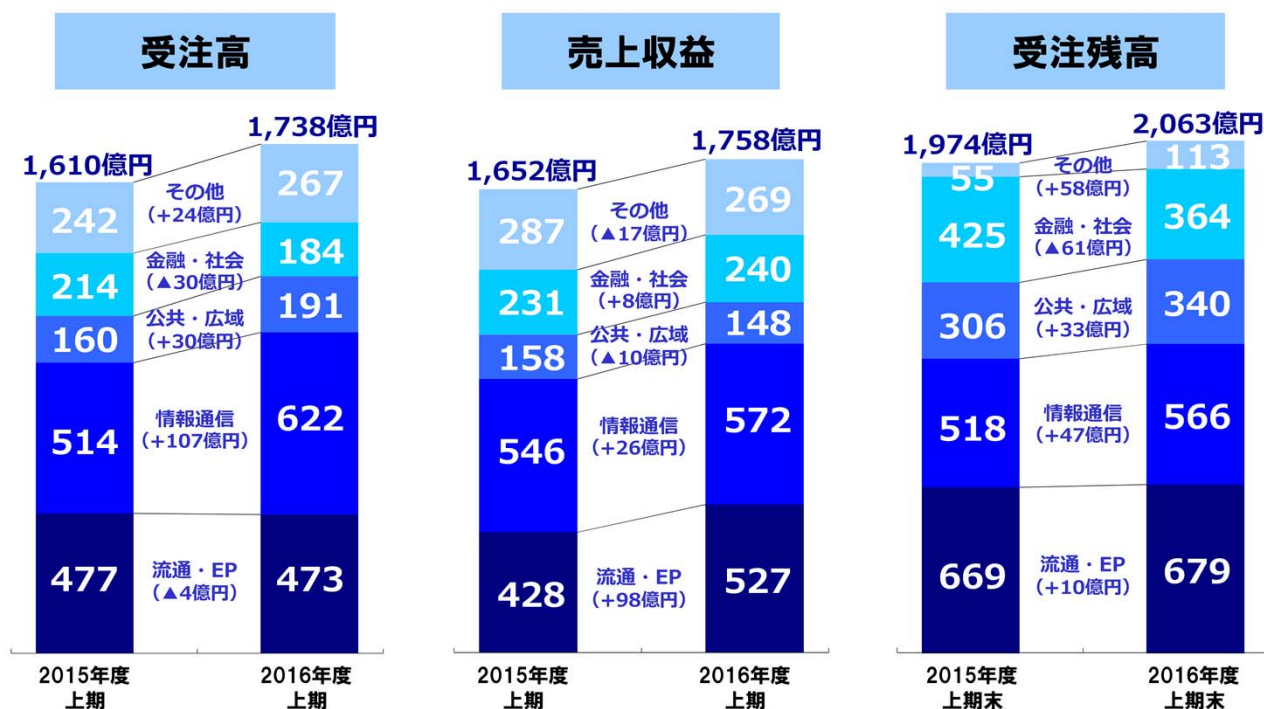
【受注高】

商社、通信会社向けなどで増加。

事業グループ別実績



(億円)



Copyright©2016 ITOCHU Techno-Solutions Corporation

-6-

事業グループ別実績（前年同期比）

【流通・EP】

受注は商社向け開発が増加するものの、前年度のコンビニ向け店舗システムが減少し、前年同期比横ばい。

売上はコンビニ向け店舗システムや商社向け開発などが増加し、前年同期比増加。

【情報通信】

受注は通信会社向けネットワークを中心に増加。

売上は通信会社向け法人案件やネットワーク、インフラ構築などが増加。

【公共・広域】

受注は中央省庁向けネットワークが増加。

売上は公益向けインフラ構築などが減少。

【金融・社会インフラ】

受注はメガバンク向け開発や公益向けインフラ構築などが減少。

売上はメガバンク向けインフラ構築やカード向け開発が増加。

【その他】

受注はシンガポールの事業会社での金融向け製品ビジネスや、国内事業会社でのコンビニや製薬向けサービスビジネスなどが増加。

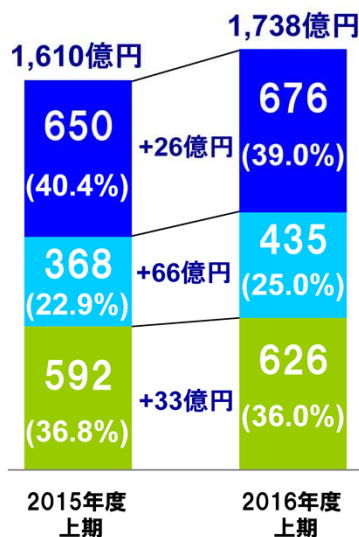
売上は海外事業会社における現地通貨安による円換算額の減少。

ビジネスモデル別実績

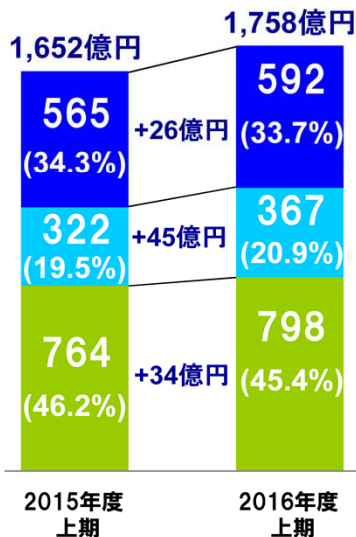


(億円)

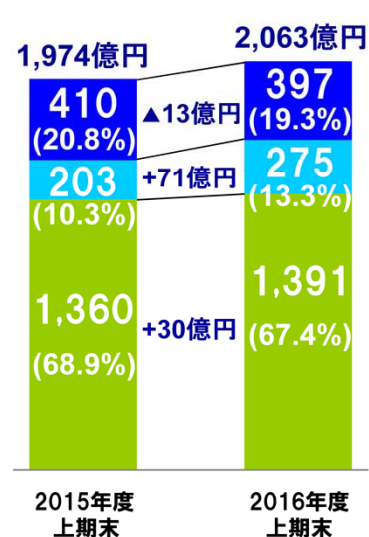
受注高



売上収益



受注残高



■ サービス ■ 開発・SI ■ 製品

-7-

Copyright©2016 ITOCHU Techno-Solutions Corporation

ビジネスモデル別実績（前年同期比）

【サービス】

受注は通信会社向け製品保守などが増加。

売上はコンビニ向け店舗関連機器設置・構築や、自動車向け運用などが増加。

【開発・SI】

受注は商社向け開発案件を中心に増加。

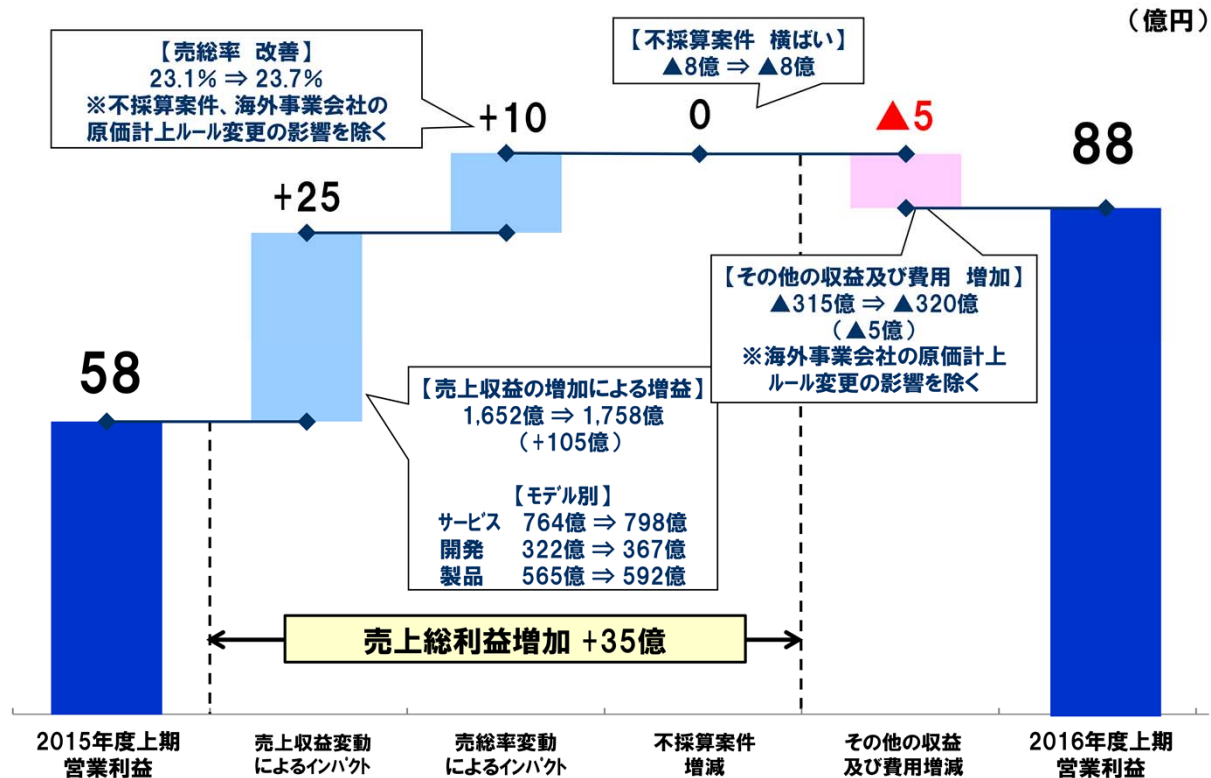
売上は商社や運輸向け開発や、自動車向けインフラ構築が増加。

【製品】

受注は通信会社向けネットワークが増加。

売上はコンビニ向け店舗関連機器や通信会社向けネットワークなどが増加。

営業利益増減要因（前年同期比）



-8-

Copyright©2016 ITOCHU Techno-Solutions Corporation

売上総利益率に関する補足

【不採算除く売総率】

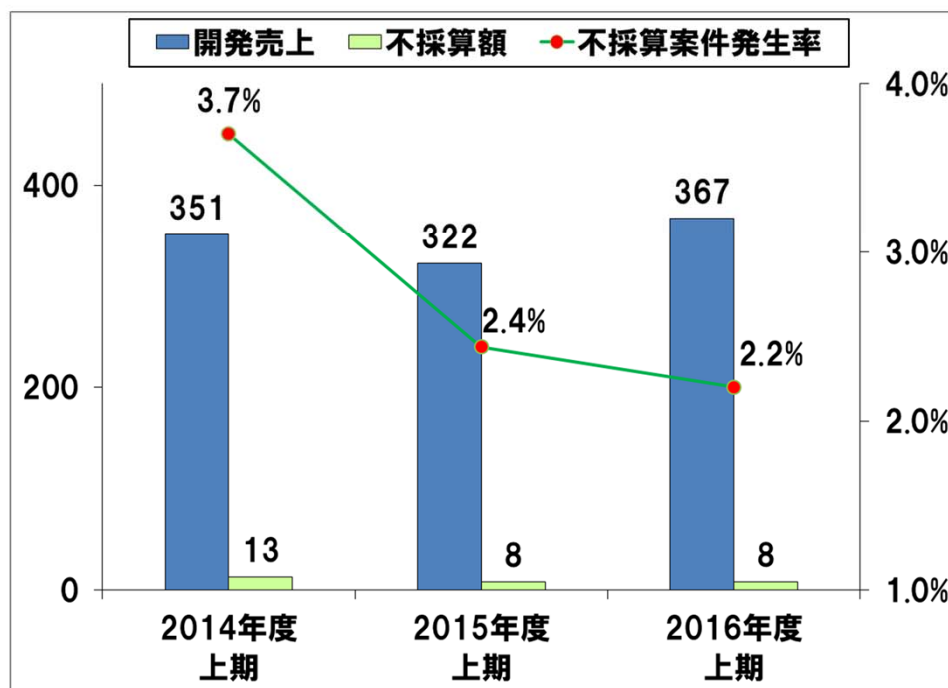
15年度上期 23.1% → 16年度上期 23.3% (+0.2pts)

【上記に加え、海外事業会社の原価計上ルール変更の影響を除く売総率】

15年度上期 23.1% → 16年度上期 23.7% (+0.6pts)

(参考) 開発・SI売上高と不採算案件

開発・SIの売上高に対する不採算案件発生比率は低下



(参考) その他の収益及び費用 内訳

(億円)

	2015年度 上期実績	2016年度 上期実績	増減額
人 件 費	▲181	▲178	+2
委 託 社 員 受 入 費	▲29	▲29	+0
減 価 償 却 費	▲15	▲12	+2
そ の 他	▲90	▲90	+0
販売費及び一般管理費 合計	▲316	▲310	+5
そ の 他 の 収 益	1	1	▲0
そ の 他 の 費 用	▲0	▲3	▲3
そ の 他 の 収 益 及 び 費 用	▲315	▲312	+2

-10-

(参考) 連結財政状態計算書



(億円)

	2015年度 上期末	2016年度 上期末	増減額
流動資産	2,032	2,162	+129
非流動資産	730	789	+59
資産合計	2,763	2,951	+188
流動負債	874	976	+101
非流動負債	172	151	▲21
負債合計	1,047	1,127	+80
資本合計	1,715	1,824	+108
負債及び資本合計	2,763	2,951	+188

-11-

Copyright©2016 ITOCHU Techno-Solutions Corporation

① 流動資産：	+129
現金及び現金同等物	▲ 24
売掛金	+ 72
商品	▲ 20
預け金	+115
② 非流動資産：	+59
有形資産	+10
無形資産	+28
投資有価証券	+25
繰延税金資産	▲ 5
③ 流動負債：	+101
営業債務及びその他の債務	+15
短期リース債務	▲ 8
未払法人税等	+19
賞与引当金	+ 5
前受収益	+58
④ 非流動負債：	▲21
長期リース債務	▲14
退職給付引当金	▲ 3
⑤ 資本：	+108
利益剰余金	+125

(参考) 連結キャッシュ・フロー

(億円)

	2015年度 上期実績	2016年度 上期実績	増減額
現金及び現金同等物の期首残高	501	448	▲52
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲ 46	50	+96
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 38	▲ 111	▲72
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 44	▲ 43	+0
現金及び現金同等物の期末残高	369	344	▲24
フリー・キャッシュ・フロー	▲ 85	▲ 60	+24

-12-

Copyright©2016 ITOCHU Techno-Solutions Corporation

- ① 営業活動によるキャッシュ・フローー : +96
- 営業債務及びその他の債務の増減額 + 20
 - 法人所得税の支払額 + 33
 - 前払費用による支出の減少 + 18
 - 前受金による収入の増加 + 15
- ② 投資活動によるキャッシュ・フロー : ▲72
- 無形固定資産の取得による支出 ▲ 7
 - 預け金の増減額 ▲66
- ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー : +0

I

2016年度上期

決算概況

II

2016年度 重点施策進捗状況

III

2016年度

通期業績予想

中期経営計画達成に向けた
「3つのシフトの加速」と「経営基盤の更なる強化」



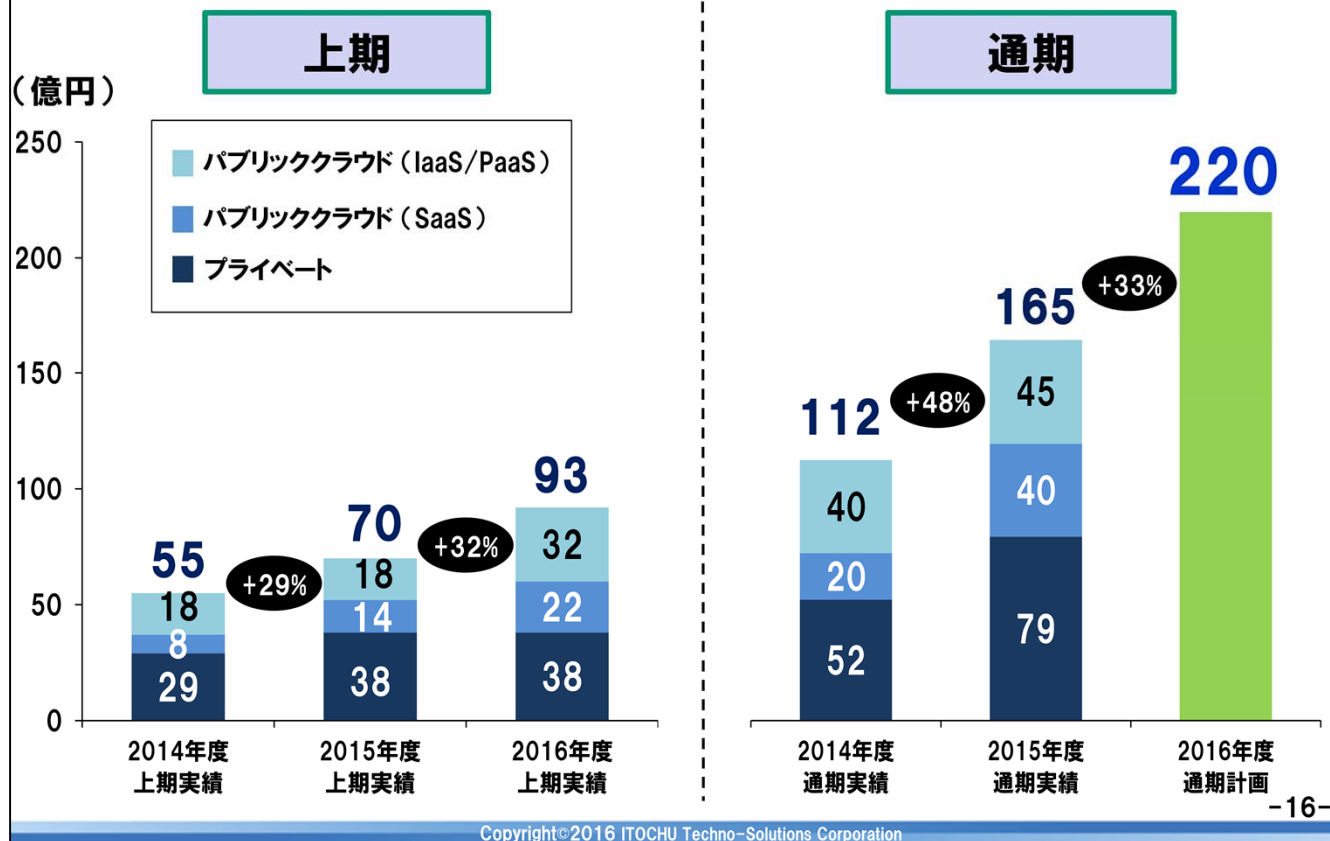


- ◆ 新「総合力」経営
- ◆ 「新サービス」離陸
- ◆ 「M&A」推進

上期
トピックス

- ◆ 大型組織改編は順調に離陸
- ◆ CUVICmc2、Avail-I サービスイン
- ◆ M&Aは継続検討

(参考) クラウド売上推移



基幹システム特化型クラウド基盤

 **CUVICmc2** (キュービックエムシーツー)

2016年4月、本番稼働後
半年で**7社**採用決定

安心

- ・運用サービスメニュー
- ・CTC国内DCに設置 + 外部クラウドとの連携
- ・高度なセキュリティ設計 + コンプライアンス



性能

- ・DR復旧性能を保証
- ・パフォーマンスに対しても保証



安価

- ・実使用量をベースとした従量課金



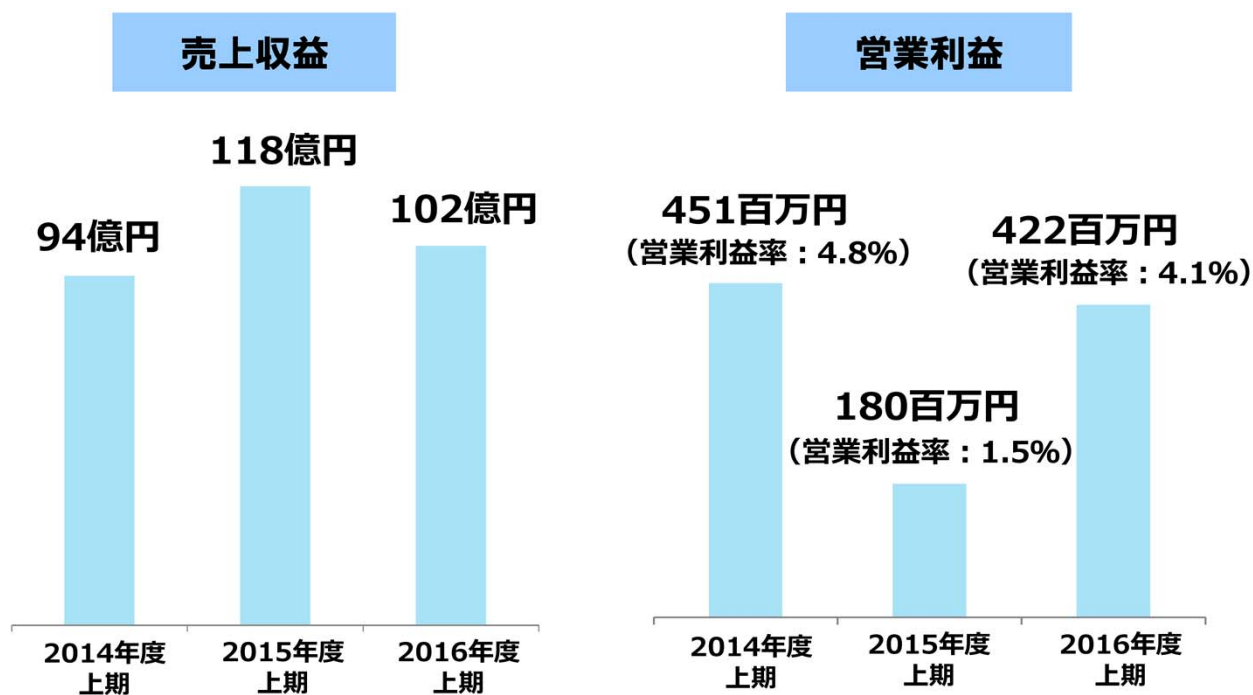


- ◆ 「**地方創生**」体制始動
- ◆ 「**先進技術**」実戦投入
- ◆ 「**グローバル**」第2フェーズ

上期
トピックス

- ◆ 公共・広域事業グループ発進
- ◆ OpenStack、OCP、SDN/NFV実装開始
- ◆ グローバル拠点拡充

(参考) 2016年度上期 海外事業会社売上



※ 上記は、海外事業会社3社(CTCMY、CTCSG、CTCアメリカ)の合計

-20-

Copyright©2016 ITOCHU Techno-Solutions Corporation

事業グループ毎の下期注力ポイント



流通・EP

- ・重点顧客の大型案件
- ・セキュリティビジネス
- ・「ウェルネスワークスタイル」推進

情報通信

- ・SDN/NFV案件
- ・xSP向け OCP案件

公共・広域

- ・自治体向けセキュリティビジネス
- ・地場ITパートナーとの協業

金融・社会 インフラ

- ・FinTech、RegTechビジネス
- ・公益分野向け大型案件
- ・LOB向けクラウドサービス

ITサービス

- ・CUVICmc2、Availシリーズ、セキュリティ等、サービスビジネス
- ・クラウドネイティブ技術の実戦投入

I 2016年度上期
決算概況

II 2016年度 重点施策進捗状況

III 2016年度
通期業績予想

2016年度 通期業績予想



期初公表値から変更なし

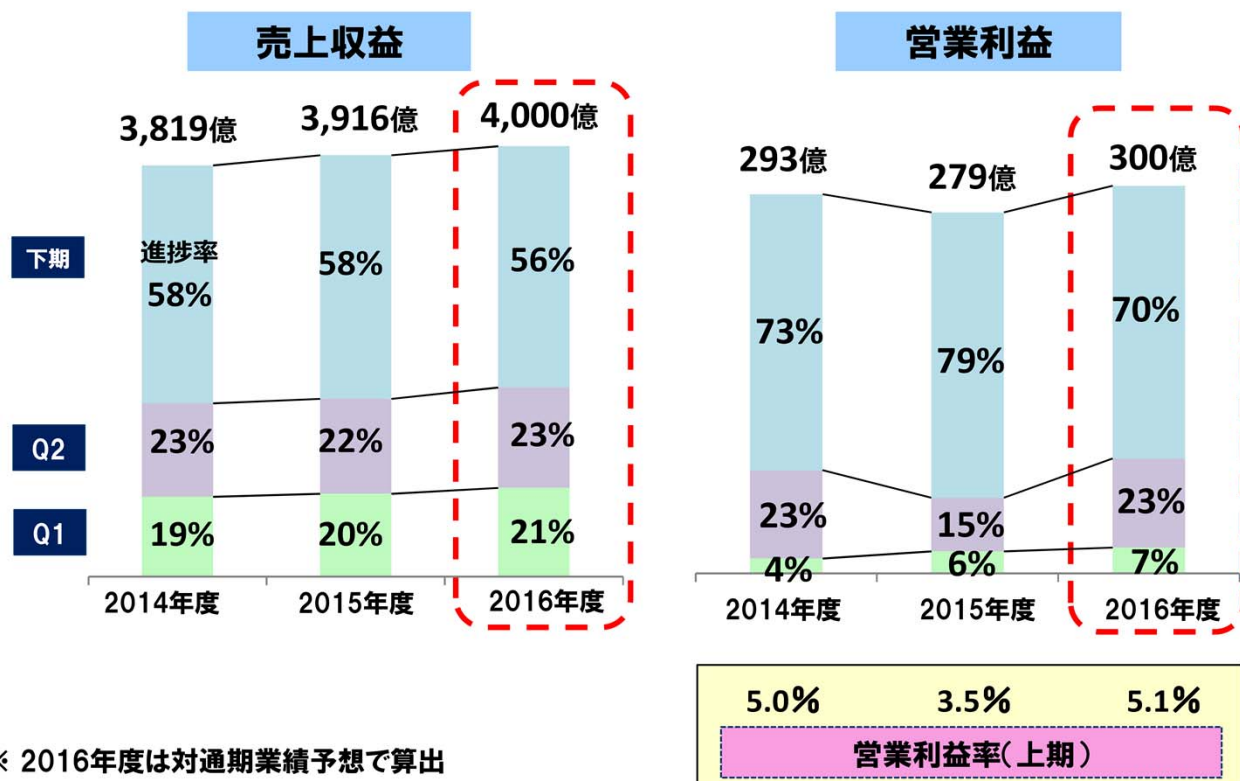
(億円)

	2015年度 実績	2016年度 業績予想	増減額	増減率
売 上 収 益	3,916	4,000	+83	+2.1%
売 上 総 利 益	915	960	+44	+4.9%
(売上総利益率)	(23.4%)	(24.0%)	(+0.6p)	
その他の収益及び費用	▲635	▲660	▲24	+3.8%
営 業 利 益	279	300	+20	+7.4%
(営業利益率)	(7.1%)	(7.5%)	(+0.4p)	
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	180	195	+14	+8.2%
受 注 高	3,983	4,100	+116	+2.9%
受 注 残 高	2,083	2,183	+100	+4.8%

-24-

Copyright©2016 ITOCHU Techno-Solutions Corporation

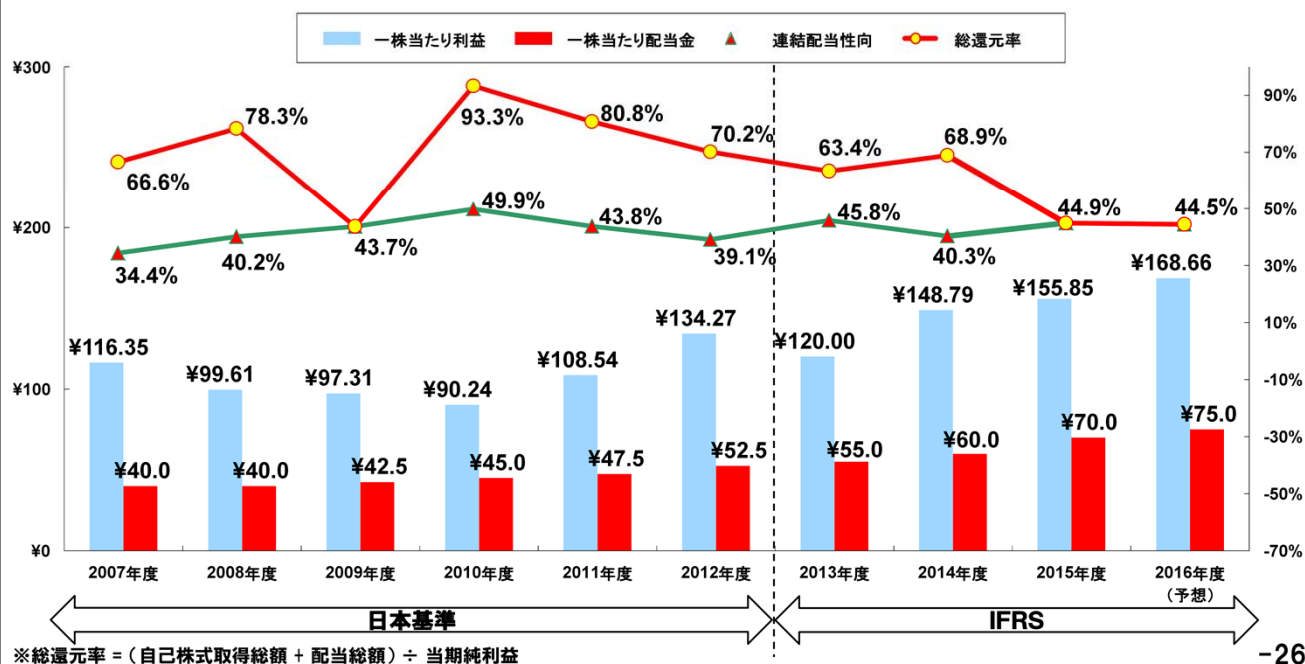
(参考) 直近3年間の売上/営業利益 推移



株主還元予定

安定的かつ業績連動を意識した配当を実施。(配当性向40%を目安)

・ 2016年度:通期配当 75円を予定 ⇒ 配当性向 44.5%



「答えは、CTC。」



Copyright©2016 ITOCHU Techno-Solutions Corporation